

ちょっと一言...

広報紙の原稿〆切は配付の1ヶ月前。この原稿は3月上旬に書いています。いつも1か月先の季節や状況を予想しながら書いていて、今も雪が解けた春の安平町を思いながらキーを叩いています。自分にとって安平町の春といえば鳥のさえずりです。道路脇に見える土、少し汚れたアスファルト、草や小さな花が顔を出し、見上げた空から聞こえる鳥のさえずり。特別きれいな景色とかではなくても子ども心に春を感じる瞬間でした。きっと今の子どもたちにも、そして皆さんにも、心に残る「安平町の春」があるのでしょうか。



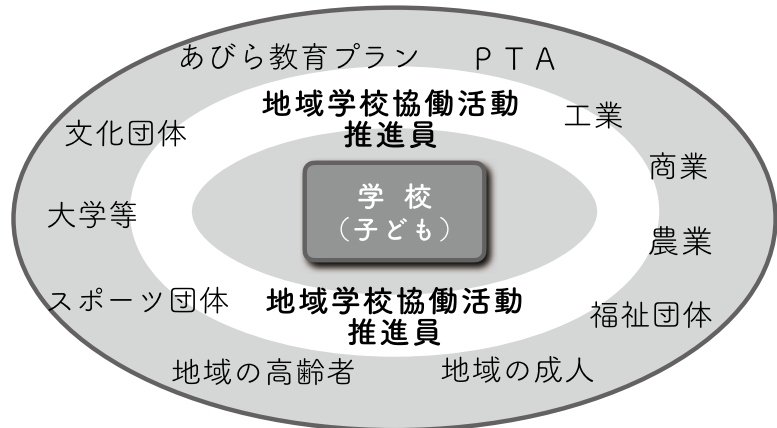
井内 聖
IUCHI SEI

地域プロジェクトマネージャー
子育て・教育総合専門員

3月の活動報告

- ・校長会、教頭会への参加
- ・教育委員会への参加
- ・学校運営協議会への参加
- ・地域学校協働本部設置要綱作成
- ・部活動地域移行支援
- ・校務支援システム導入支援

地域学校協働本部



学校と地域をつなげる、共に子どもを育てる

地域と学校の協働



目標や願いが同じ活動をコラボレーションする
「やりたい、やってもいい」が共有できることが前提

- ◆ 地域学校協働本部は「ゆるやかなネットワーク」のこと
- ◆ どこかに事務局があったり、事務局長がいるものではない
(ネットワーク自体を地域学校協働本部という)
- ◆ 学校のお手伝いを目的とした活動ではない
(地域だって学校に手伝ってほしい。一方が求めるのではなく、お互いにとってより良くなることをする)
- ◆ 子どもを中心に、子どもために**学校と地域が対等関係**で
取り組む活動を協働的な活動という
(それをつなげるのが『地域学校協働活動推進員』)